

# (一社) 茨城県環境保全協会 協会だより

平成 29 年度  
第 8 号 (通巻第 41 号)  
平成 29 年 11 月 1 日発行  
一般社団法人茨城県環境保全協会  
発行担当 広報委員会  
水戸市平須町 1825-192 平須ビル 202  
TEL 029-303-6007  
FAX 029-303-6008  
Mail info@kankyo-ibaraki.com

## 浄化槽講習会を開催



10月7日(土)に水戸市の茨城県開発公社ビルにおいて平成29年度浄化槽講習会を開催いたしました。  
この講習会は毎年恒例となっておりますが、昨今のコンパクト、モアコンパクトタイプ浄化槽の清掃に際し、正しい知識での確かな清掃を行い放流水質の保全及び槽内機器の破損防止を目的としております。  
また、今回の講習会開催にあたりましては、茨城県における浄化槽行政の現状について、県環境対策課 水環境室係長の額賀博美様にもご講演をいただき、当協会の小沼理事による浄化槽清掃記録票の記載方法についての講習も同時に開催いたしました。浄化槽清掃記録票の記載方法につきましては、先月の協会だよりにて詳細をご連絡済みですので、こちらをご参照ください。  
講習会は午前9時に池田副理事長のあいさつから始まり、茨城県の額賀係長から、県内浄化槽設置の状況や管理者としての法律に基づいた保守点検、清掃、点検等の義務及び清掃業者の義務としての清

掃記録票作成・交付等についてご講演いただき、これからの方針として法定検査(11条検査)未受験の浄化槽管理者に対する指導の強化や単独浄化槽から合併浄化槽への転換の促進等についてお話しいただきました。



11条検査の受検促進は、検査員の浄化槽清掃記録票の確認件数増につながり、年1回以上という浄化槽の清掃推進に直結し、当業界としての仕事量の増加にもつながります。今後協会として、会員の皆様と共に茨城県の施策に協力をして、県内水環境の保全を通じて事業の拡大を図ってまいりたいと思っております。ご協力をよろしくお願いたします。

続いて浄化槽清掃に関する講習会を行いました。今回は「クボタ小型浄化槽 コンパクト高度処理型 KZ型」について①構造及び機能について②清掃の仕方及び留意点について③その他付随する事項について、株式会社クボタの本田様に2時間程度ご説明をいただき、その後質疑応答を行いました。参加者からは具体的に清掃の際に気を付けなければならないこと、例えば破損につながる恐れがある箇所などの質問があり、普段の管理に関する講習会とは違い、清掃作業員が現場で感じていることなどが質問されていました。

協会では平成22年以降、小型合併浄化槽清掃に関する講習会を概ね年1回実施しておりますが、今後さらに新しい方式の浄化槽発売が予想されますので、今後とも正しい清掃方法についての講習会を実施してまいります。会員企業の皆様のご参加をお願いいたします。

清掃実務の講習会に続き、協会小沼理事より「浄化槽清掃記録票」の記載方法に関する講習があり、



りました。詳細につきましては先月号の協会だよりにも記載してありますので割愛いたしますが、記載する内容について不明な点がありましたら、お手数でも協会までFAXもしくはメールでお問い合わせください。

また、当日は浄化槽清掃・管理用品の展示会が、(株)日環商事、(株)モリタエコノス、不二商会(株)の3社の協力で行列、休憩時間等に参加者が熱心に最新の機器の展示を見学していました。当日ご参加いただきました会員企業の皆様、茨城



県の額賀係長様、株式会社クボタの皆様及び展示会を開催していただきました協力企業の皆様に対しまして、厚く御礼を申し上げます。また、来年度も業務に直結するような研修会を開催してまいりますので、さらなるご参加をお願いいたします。

(一社) 日本環境保全協会

関東地区協議会秋季研修会への参加

10月27日(金) 山梨県笛吹市の石和びゅーほ  
てるにおいて標記の研修会が開催され、当協会から  
秋山理事長、小林・池田副理事長、山村・岡島理事、  
北茨城市企業衛生より1名の合計6名で出席して  
まいりました。

研修会では、まず「一般廃棄物許可業者のメリッ  
トを活かす地域密着の不用品回収、生前・遺品整理  
業務」と題して、埼玉県の大村商事株式会社の代表  
取締役社長、大村哲氏より同社の取り組みについ  
て講義を受けました。興味のある方は、当協会に資  
料がありますので、お問い合わせ頂ければお分けす  
ることが可能です。その後、「AED自動体外式除  
細動器の必要性について」と題して、総合警備保障  
株式会社埼玉南支社営業部長、倉光祐一氏より講義  
があり、平成28年9月9日より長野市委託清掃事  
業協同組合においてごみ収集車38台へのAED  
の搭載事例等の説明を受けました。その後、各県連  
より取り組み内容の報告がありましたので発表順  
にご紹介いたします。

神奈川県環境整備事業協同組合

現在、県に対し環境省から災害時の一般廃棄物の  
処理計画について策定するよう指導があり、し尿等  
について組合として神奈川県との災害時協定等を  
含め検討しております。

(一社) 千葉県環境保全センター

7条及び11条の法定検査受験率向上策の一環  
として県では浄化槽法に基づいた浄化槽関連業者  
等への情報収集を行っており、これによりいわゆる  
無届浄化槽等の発掘等にもつながることから、現在  
県とその方法等について協議を行っております。

(一社) 東京環境保全協会

現在いわゆる遺品ごみが増加をしております、その取  
扱いについて産廃及び一廃の区別を含めて都の環  
境局に文書にて問い合わせを行いました。最終的  
には一般廃棄物については23区の管轄であるの  
で、それぞれの区と調整してくださるとの回答があ  
り困惑しております。

また、都内においては下水道普及率100%とは  
言いながらも、実際には数百基の浄化槽が現存して  
おり、それも先細りであることは事実であります。最  
最近ではビルピットの清掃に力を入れております。

(一社) 群馬県環境保全協会

11月9日に(一社)日本環境保全協会の一般廃  
棄物適正処理推進大会が開催されることもあって、  
その準備、対応に追われております。  
協会事業としましては、浄化槽放流水の水質浄化

を目指して、関連4団体での協議を行い、県知事及  
び県会議長あての要望書を提出いたしました。内容  
は現在70%程度の11条検査受験率、50%程度  
の浄化槽清掃率を3年後にはそれぞれ80%に引  
き上げていただきたいとの内容で、そのために提言  
を行っております。①優良浄化槽認定制度であり5  
年間の法定検査、保守点検、清掃等の実施状況を勘  
案して認定を行うというもの、②浄化槽の適正施工  
の確保はハウスメーカー等への適正な浄化槽設置  
工事の指示、③既存浄化槽の保守点検、清掃の適正  
実施、④単独浄化槽から合併浄化槽への転換推進に  
ついては、県の担当部局からも下水道政策の見直し  
と共に推進していききたいとの回答を得ております  
⑤その他について要望書を提出いたしました。

三多摩清掃事業協同組合

安全情報システムアンピックという会社と提携  
をして、スマートフォンを使用して組合員企業の  
災害時の従業員安否確認をできるようにしました。  
組合としてまとまって加入することにより、比較的  
安価に導入することができ、各市役所等にも導入を  
報告しそのメリットを宣伝しております。

栃木県環境保全協会

宇都宮市において、来年し尿の5年契約が終了し  
入札が予定されております。また栃木県においては  
11条検査の受験率向上を目指し、各市町村と連携  
して各施策を実施しており、足利市において未受験  
管理者に対して通知を発送するところまで来てお  
ります。

(一社) 茨城県環境保全協会

10月7日に毎年恒例となっております浄化槽  
清掃技術の向上を目指した講習会を実施し、約10  
0名の受講者がありました。講習会の効果として直  
接的には技術の向上が図られるということもあり  
ますが、今まで行事にあまり参加されなかった会員  
企業の方が参加されることも目立っております。

当協会が発行している広報誌(協会だより)も、  
県内44市町村、茨城県関連部署・機関、環境保全  
議員連盟所属の県内国會議員、県議會議員等へ配布  
をしておりますが、徐々に認知され各方面からの反  
応が開始しております。他の県連においても同様の  
広報誌等があれば参考までにお送りいただけると  
ありがたいと思います。

浄化槽清掃事業の重要性を訴求するために、浄化  
槽のミニチュアモデルを購入し、貸出も可能と広報  
誌に乗せたところ、茨城県及び土浦市、竜ヶ崎市か  
ら希望をいただき、茨城県は浄化槽の日関連の展示  
として県庁舎特設会場に、土浦市は霞ヶ浦関連行事

の会場で青年部と共に参加し、龍ヶ崎市においても  
環境関連行事に展示をしていただきました。

埼玉県一般廃棄物連合会

埼玉県警と協定を結び、交通安全ののぼり旗を作  
成して事業所に展示を行う交通安全活動を行って  
おります。

また、毎年県内各市町村を協会役員と地域業者が  
ともに訪問をしておりますが、地域によっては首長  
さんにお会いすることもできるようになってしま  
した。訪問には表敬訪問の意味合いもありますが、  
それ以外にも合特法の話や、地域業者の必要性等  
についても話が及ぶことがあります。

以上のような研修会を行い、夕方からは懇親会に  
参加してさらなる意見交換等を行ってまいりまし  
た。

10月度定例役員会の開催

10月19日(木)午前10時より水戸市内平須町  
の協会事務局において10月度の定例役員会を開  
催いたしましたので、当日の議事内容等についてご  
報告いたします。

出席理事

秋山理事長 池田副理事長 石井・犬塚・早川・  
小沼・山村・岡島理事(理事14名中8名出席)  
佐藤監事

協議事項

- ① 協会だよりについて  
10月号の内容について広報委員会より提案  
があり、承認されました。
- ② 茨城県新聞社(環境キャンペーン)について  
茨城新聞社より「茨城県環境保全協会」の活動  
を紹介する企画の提案があり、協賛企業が集ま  
れば、新聞に掲載することとしました。
- ③ 新年会について  
平成30年1月20日(土)に、水戸京成ホテ  
ルにて新年会を行うこととしました。改めて、  
ご案内はしますが是非ご参加下さい。

報告事項

- ① 浄化槽講習会について  
前述のため割愛いたします。
- ② グリーンフェスティバル2017について  
土浦市において10月22日(日)に開催され、  
協会からは池田副理事長、青年部及び東ヶ崎副  
理事長が参加し、霞ヶ浦環境科学センターと同



③ 龍ヶ崎環境フェア2017について  
平成29年10月29日(日)午前10時から  
龍ヶ崎市主催の「龍ヶ崎市環境フェア2017」  
が開催されました。  
多くの市民の方に環境問題に関心を持って  
いただくことを目的に、市民団体や事業所など  
による環境パネルなどの展示などをおこないま  
した。

当協会はミニ  
チュアモデル  
の浄化槽と清  
掃に関するパ  
ネルを龍ヶ崎  
市役所 都市  
環境部下水道  
課様からのご  
依頼により、展  
示させて頂き  
ました。

